

厚生保険特別会計健康勘定 平成17年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	235	389	153	借入金	1,479	1,479	-
未収金等	637	629	△7	その他	34	34	△0
貸倒引当金	△109	△99	9				
有形固定資産	471	334	△136				
国有財産 (公共用財産除く)	454	326	△128	負債合計	1,513	1,513	△0
出資金	-	26	26	< 資産・負債差額の部 >			
その他	-	0	0	資産・負債差額	△278	△233	45
資産合計	1,235	1,280	44	負債及び資産・負債差額合計	1,235	1,280	44

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
健康保険拠出金	3,938	4,050	111
老人保健拠出金	1,899	1,790	△109
退職者給付拠出金	688	795	106
介護納付金	524	595	70
業務勘定への繰入	97	94	△2
減価償却費	21	22	0
その他	△10	29	40
本年度業務費用合計	7,159	7,377	217

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	△503	△278	225
本年度業務費用合計(A)	△7,159	△7,377	△217
財源(自己収入等)(B)	7,384	7,502	118
資産評価差額等		△80	△80
本年度末資産・負債差額	△278	△233	45

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支	109	134	24
財務収支	△9	△9	△0
本年度収支 (業務収支+財務収支)	99	124	24
資金への繰入等	△99	△124	△24
資金残高等	235	389	153
本年度末現金・預金残高	235	389	153

平成17年度について

資産合計は448億円の増加、負債合計は2億円の減少、資産・負債差額は450億円の改善、業務費用は2,177億円の増加となりました。資産合計の増加の主な要因は現金・預金の増1,538億円及び出資金の増261億円であります。資産・負債差額の改善の主な要因は、業務費用合計と財源の差額1,254億円及び資産評価差額等803億円であります。業務費用の増加の主な要因は、健康保険拠出金の増1,118億円、退職者給付拠出金の増1,062億円及び介護納付金の増708億円であります。

留意点

主な増減内容

- 貸借対照表
(資産)
現金・預金…決算剰余金 +1,245億円
- 業務費用計算書
健康保険給付費 +1,118億円
退職者給付拠出金 +1,062億円
老人保健拠出金 △1,092億円
- 資産・負債差額増減計算書
本年度業務費用合計と財源合計との差額 +1,254億円
(上記(A) + (B)により算出)
⇒企業会計の「当期純利益」に相当
- 区分別収支計算書
業務収支…保険料収入 +1,060億円